

生産性向上支援訓練の活用事例

【会社概要】 製造業（工作機械の周辺装置の製造）

訓練受講のきっかけ（経緯）

工場で品質向上の重点取組みを行っていたが、これまで品質に関する体系的教育の機会がなく、検討している中でこの訓練を知った。特に工場のニーズにカスタマイズできるカリキュラムに関心を持ち、このコースでは中堅・管理職を対象とした訓練を要望した。

【同社の訓練ニーズ】

- 受注生産での多品種少量生産を前提とした品質管理、クレーム発生原因の分析、再発防止に役立てたい。
- 特にこの受講者層には、社内でのQC検討の場で、課題の洗い出しと対策が提案でき、かつ部下からの提案を引き出せる考え方を身に付けさせたい。

訓練の実施状況

訓練の概要

○令和2年10月、11月に各6時間の12時間コースで中堅・管理職を対象として14名が受講。

○主な内容

①品質管理の進め方と活動の推進

- ・「品質管理と品質保証」「TQC」の考え方
- ・問題把握、及び作業標準化の考え方と進め方

②不良・クレームゼロの実践

- ・QC的問題解決
- ・原因分析と対応

【演習】

- ・自部署における問題点の解決
- ・自部署の作業標準書の作成・見直し など



受講した感想

【受講者の声】

- 具体的な方法を用いて問題解決する方法で作業効率が上がると感じた。
- システムの見直しなどの解決につながりそうだと思う。
- 今までとは違った見方で問題解決につなげる事ができる。
- グループミーティングを行う中で考え方の違いにより、別の見方考え方があることを知り、役に立った。

【事業主の声】

- 品質管理を行う上で問題解決の手法や手順を今回 管理職が学ぶ事により品質に対する意識と考え方を再度認識し、部下に指導 教育が出来る様になった為上司の品質に対する熱量が社員の意識変化に繋がってきております。